
産婦人科

<指導医>

※指導医講習会未修

三島 みさ子^{*}、山田 陽子^{*}、上原 ゆり子^{*}、大野 珠美【指導責任者】、保谷 茉莉^{*}
小田 紘子^{*}

<期間> 必須 4 週 (1 ブロック)

<指導体制>

研修診療責任者(指導医)のもと、指導医とともに診療にあたる。

<一般目標(GIO : General Instructive Objectives)>

初期臨床研修医師は、信頼される臨床医となるために、産婦人科診療の基礎を理解し、産婦人科領域の基礎的臨床能力を身につける。

<到達・経験目標(SBOs : Specific Behavioral Objectives)>

- ① 正常妊娠を理解し、異常を的確に区別できる。
- ② 指導医と共に異常分娩の管理ができる。
- ③ 帝王切開の手術適応を理解し手術の介助が行える。
- ④ 婦人科疾患の手術適応を理解し、手術の介助が行える。
- ⑤ 妊婦への薬剤投与を適切に行うことができる。
- ⑥ 性感染症を理解し、適切なコンサルテーションができる。
- ⑦ 産婦人科医に相談すべき疾患と病態を理解できる。

<方略(LS : Learning Strategies)>

- ① 指導医の下に新館 2 階あるいは本館・東館 3 階入院患者の担当医となり、その管理を修得する
- ② 以下の疾患を外来診療または入院受け持ち患者で自ら経験する。

正常妊娠	異常妊娠 (流産・異所性妊娠)	切迫流早産	正常分娩	重症妊娠悪阻
異常分娩	産科出血	産褥	子宮筋腫	卵巣嚢腫

- ③ 以下の疾患を経験する

外陰・膣・骨盤内感染症、不妊症、骨盤内腫瘍、子宮脱・下垂、更年期障害、乳腺炎

<週間スケジュール>

	月	火	水	木	金	土
午前	外来・病棟	外来、病棟	外来、病棟	手術	手術	外来、病棟
午後	外来・病棟	外来、病棟	手術	手術	手術	病棟
夕	病棟	子宮鏡検査	病棟	カンファレンス	子宮鏡検査	病棟

- ・時間外も含め分娩に関しては、なるべく経験してもらいたい。
- ・カンファレンスへの参加（手術症例のプレゼンテーション）。
- ・抄読会（4週間に1回）

<評価(Ev : Evaluation)>

① 研修医による自己評価

経験すべき症例を経験した際は、研修医手帳に記入する。

各科研修ローテーション終了時にインターネットを用いた評価システムを入力することで評価する。

② 指導医による研修医の評価

各科研修終了時に指導医がインターネットを用いた評価システムの入力と、定められた評価表を用いて評価する。

③ 指導医以外の医療スタッフによる360度評価を実施する。

④ 上記に加え、研修医講義やカンファレンス(CPC や死亡症例カンファレンスなど)、勉強会、抄読会など義務付けられた教育プログラムの参加状況を評価に加える。